

# 大学の世界展開力強化事業 取組概要 慶應義塾大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-I))

グローバルイノベーションデザイン・プログラム(以下、「GIDプログラム」)

【プログラムの目的・養成する人材像】

本プログラムではイノベーションデザイン力、プロジェクト実行力、国際的コミュニケーション力を持ち、クリエイティブな思考に基づきイノベーションを創出できる国際的な人材「グローバルイノベーションデザイン・リーダー」の育成を目標としています。

【構想の概要】

本構想は創造社会におけるグローバルイノベーションデザイン・リーダー育成を目的とした米・日・英の国際連携教育プログラムです。3大文化経済圏のリーディングスクールである提携校に半期ごと滞在することで、トランス・ナショナルな教育環境を実現します。修了者には在籍校の修士学位が授与されます。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

### ○ 3拠点が連携するGIDプログラム修士課程の教育カリキュラム設計を完了

米・日・英の大学が連携し2年半におよぶ修士プログラム(GIDメインプログラム)をH25年度から開始させるべく、実験的な短期学生交流プログラム(プレ・プログラム)や3拠点合同の定期的な協議を通して、連携大学が一貫して協働提供する教育カリキュラムの策定を完了した。

### ○ 大学間交流に参加する学生の選抜とGIDメインプログラムの開始

H25年度から留学を開始する学生の選抜、3拠点それぞれが提供する授業科目の単位互換・成績管理の方法策定、本プログラムの契約書締結についての最終調整を行った。また、応募学生に向けた情報を発信するウェブサイトを開示した(<http://gid.kmd.keio.ac.jp/>)。

### ○ 外国人特任講師の雇用と海外からの訪問教授による特別講義科目の開講

トランス・ナショナルな教育経験の質的向上を図るため、H24年9月から米国出身の常勤外国人特任講師1名他を雇用した。また、世界的に活躍する3名の特別講師を海外から招き、ビジネスやイノベーションデザインなどに関する特別講義を実施した。



〈Josh Spear氏による特別講義〉

## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況



〈GIDショートプログラム〉



〈本校で実施したプレ・プログラム〉

### ○ 3拠点それぞれの特色を生かしたGIDショートプログラムの実施

3拠点それぞれの特色を生かした1週間のGID導入教育プログラム(ショートプログラム)を提携校の米国Pratt Instituteにおいて実施し、10名の学部学生を派遣した。

### ○ プレ・プログラムの実施および修士プログラムの開始

3拠点が協働で提供する教育カリキュラムの検討を行うべく、各拠点ごとに約1ヶ月におよぶプレ・プログラムを実施した。ここで得た学びを生かし、本格的な修士教育課程であるGIDメインプログラムに選抜された学生はH25年9月より留学を開始する予定である。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

H24年度、ショートプログラムでは学部生10名(すべて日本人)を米国へ派遣した。プレ・プログラムでは米国へ7名(うち日本人3名)、英国へ4名(うち日本人3名)、計21名(うち日本人学生16名)を派遣した。

### ○ 外国人留学生の受入れ

プレ・プログラムに参加した外国人留学生は、本研究科に所属する学生5名、英国の提携校から3名、米国の提携校から3名、メインプログラムの学生2名と、計13名の外国人留学生となった。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本人学生の派遣	3	16	20	20	20
留学生の受入	5	13	25	25	25

注)H23・H24は実績、H25以降は計画。

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### ○ GIDプロジェクトルームの運用・整備

H24年度に設置したGID学生専用の教室「GIDプロジェクトルーム」と、制作活動を行う部屋「GIDスタジオ」を使用して、受入学生と本学学生がグループで活動するワークショップを行った他、実際の教育・研究の進行に合わせて設備の整備を行った。

### ○ 学生の受入・派遣環境の整備

プレ・プログラムの実施経験をもとに、GIDメインプログラム生の宿舍を3拠点それぞれにおいて決定した他、ビザ取得などの受入・派遣に必要な手続き方法を確認した。また上述のショートプログラムに参加した聴覚障害を持つ学生が米国で受けた講義参加支援法から学び、本学においても学生ボランティアの協力による聴覚障害学生への支援方法を確立した。

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### ○ GIDシンポジウムおよびGIDワークショップの開催

H24年11月21日にGID Symposium 2012を開催し、本プログラムの取組を全世界へ発信した。11月23日には本学キャンパス内でGID Workshop 2012を開催し、GIDが提供するデザイン教育を外部へ紹介した。またH24年度の成果を写真とエッセイを束ねて収録したアニュアル・レポート『Global Innovation Design 2012』を制作した。



〈Dale Russell教授による基調講演(シンポジウム)〉



〈GIDワークショップ〉